やってみよう②

～クライアントのゴールと、あなた(スーパーバイザー)がグループから特に必要としている助言(助け)は何か考えてみよう～

【課題手順】

「ワークシート②」を基に課題に取り組み、回答を「全体講義レポート」にご記入ください

*グループスーパービジョンを行う前の準備になります。グループスーパービジョンは、スーパーバイザーの主体的な求めに応じるものです。

Q. にあなたの支援をふりかえりながら記入をしてみてください。

①最近関わった利用者を1人設定してみてください。やってみよう1で設定した方でもいいです。

例:Aさん女性40歳。中軽度の知的障がい。父親と2人暮らし。父親は、Aさんは何もできない。外にでるとろくなことをしない。作業所も行く必要はないと考え、Aさんの行動制限につながっている。Aさんはもっと外出したい、地域で同じ障がい者と出会いたい、好きな洋服を買っておしゃれをしたいと願っている。

○利用者の姿を簡単にまとめてください。

②その方のあなたの考えるゴールを示してみてください。

例: 父親から制限されず、外出や買い物をしたい

○あなたが考える利用者のゴールを提示してみてください。

※回答は「令和7年度大阪府相談支援従事者現任研修【全体講義レポート】」にご記入ください

③上記②のゴールに対し、あなた自身の支援における困りごと、難しさを挙げて、どのような助言がほしいか示してみてください。

例:Aさんはもっと地域で活動したいと思っていますが、父親がお金を使い過ぎるといって制限します。実際は年金から使っても1万円ぐらいです。父親に私からもう少しAさんに外出をさせてください、Aさんの年金だからAさんに使わせてほしいと言うと、もう来るな、外であいつが失敗したときの責任をお前は取れないと言われてしまいました。わたしは父親に制限されることなく、Aさんが地域で活動できるアイデアが欲しいと思います。

○支援における困りごと、難しさを挙げて、どのような助言がほしいか提示してください。

※回答は「令和7年度大阪府相談支援従事者現任研修【全体講義レポート】」にご記入ください